

# 希望の鐘の音



《大槌病院基本理念》

2019・冬号

患者さんのために 地域のために

良質な医療の提供と地域医療の活性化を目指します



## ☆☆☆新年のごあいさつ☆☆☆

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えしたことをお喜び申し上げ、また本年が素晴らしい一年となることを心よりお祈り申し上げます。



病院長 坂下 伸夫

短い年末年始の期間ですが、心身ともにリフレッシュし新たな気持ちで本日を迎えられたことと思います。

当院も開院から3回目のお正月となります。今年の干支は己亥です。どのような意味を持つか調べてみますと、猪突猛進のイメージとは裏腹に「今現在の状況を維持し、守りの姿勢に徹したほうが良い」「次のステージに向けた準備期間」とされておりました。

しかし、医療情勢の変化が著しい現在、守りに入ると現状維持どころかすぐさま凋落の危機に陥ります。昨年当院は地域包括ケア病床の導入を行い、新たな段階へと登るきっかけを得ました。これまでの3年間は土台作りの時期だったとすれば、干支の意味合いとは異なりますが、これからは発展あるいは展開を目指すこととなります。

具体的には、釜石・大槌地域における地域包括ケアシステムの中での医療のコアとなることです。歳をとっても地域で安心して暮らすことができるように医療の面から住民のみなさまを支えていきたいと考えております。

地域包括ケア病床の導入も訪問診療も目的ではなく、これを実現するための手段です。当院の理念のとおり、地域のみなさまのためとなる事業を行っていききたいと思います。

当院が釜石・大槌地域にとって無くてはならない病院となるために、職員一人ひとりの尽力を期待し、新年のご挨拶といたします。



# ☆☆☆外来診療のご案内☆☆☆



	診療科 (受付時間)	月	火	水	木	金
午 前	内 科	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木 高橋(第1/3/5)	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木
	外 科 (~11:00)	坂 下	坂 下	坂 下 (~10:30)	坂 下	
	整形外科 (~10:00)	室岡(隔週)	※緑文字は診療 応援の医師です			
	皮膚科 (~10:00)	堀内(第4)			中央病院 (第2)	
	眼 科 (~10:30)					岩手医大
午 後	整形外科	沼田(月1) 釜石病院 (月1)				
	皮膚科				中央病院 (第2)	

※受付時間 午前：8時30分～11時30分  
午後：13時～16時

※診療予約制となっております。予約外の方は診療順が前後する場合がございます。  
※当院は岩手県立中部病院及び岩手県立釜石病院の臨床研修協力施設となっております。  
臨床研修医が外来診療を担当する場合がございます。  
※各日の整形外科の担当医はお問い合わせください。

平成30年度 岩手県立大槌病院

\*参加無料

第9回

## 糖 尿 病 教 室

～病気の発症と増悪を防ごう～



【今回の内容】 テーマ「**低血糖とシックデイ**」

- 体調悪い時どうする？ 内科医師：黒田継久
- 糖尿病と上手に付き合うために  
看護師：鈴木久美子



日時：平成31年1月17日(木) 8時45分～9時15分  
場所：岩手県立大槌病院 3階 デイルーム(食堂)

大槌町小槌23地割字寺野1-1 TEL : 0193-42-2121



みなさまの地域や職場  
に出向き講演を行う  
「出前健康講座」もお  
受けしています。



# 糖尿病 薬があれば大丈夫？

薬剤科長 工藤 保直



高血糖が続く状態を糖尿病と呼びます。血糖値が高くても自覚症状はあまりありませんが、この状態が長く続くと全身の神経や細胞が傷つけられて、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病神経障害などの様々な合併症を生じます。傷つけられた神経や細胞は元には戻りませんので、糖尿病の合併症を防ぐために毎日の治療を継続し、血糖のコントロールをしていきましょう。

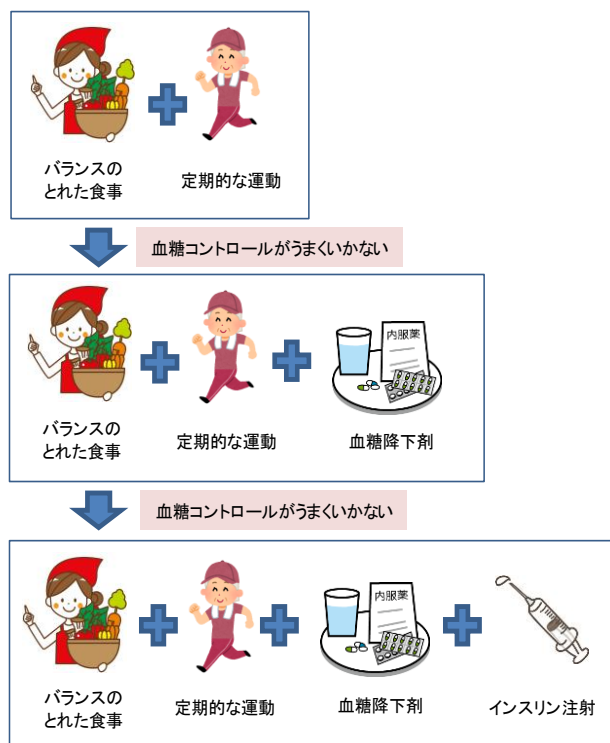
## 血糖コントロールの方法

血糖のコントロールには「食事療法」、「運動療法」、「薬物療法」の3つの方法がありますが、薬物療法には不足しているインスリンやホルモン剤を外から補う注射剤と経口血糖降下剤（飲み薬）を服用する方法があり、飲み薬には膵臓からのインスリン分泌を促進させるもの、インスリンの作用を高めたり働きを良くするもの、血液から尿への糖の排泄を促進するもの、糖の分解・吸収を抑えて急激な血糖の上昇を抑制するものがあります。

食事療法と運動療法はすべての患者さんに必要となるため、薬物療法を受けている人は、すべてを組み合わせることで合併症を予防しなければなりません。

薬物療法のみで頼ると、一時的に血糖コントロールは出来ても、肥満が助長されたり、糖尿病以外の病気を発症したりするほか、徐々に薬が効かなくなってくる場合もあります。また、薬の効果を最大限に生かし、薬の量を最小限にするためにも、食事療法や運動療法が非常に大切です。

合併症を防ぐため、用法用量を守り、医師の指導の下で正しく血糖コントロールを行いましょう。



## ☆☆岩手医科大学医学部 地域医療実習を受入れました☆☆

岩手医科大学医学部5年生の学生3人がのべ10日間に渡り当院で実習を行い、高齢化が進む当地域での医療について、実際に体験されました。

また、実習期間終盤には、せっかくの機会ですので、開業医の先生方も交え「大槌の医療を伝える会」を開催し、なごやかな雰囲気の中、地域の医療を守り続ける意義や心構えなど、遅くまで語り合いました。



3人のかわいい「医師の卵」たちが、この機会を糧に患者さんの気持ちに寄り添える医師として成長されることを期待しています。

## ☆☆☆かわいも「応援団」が 来院してくれました☆☆☆

勤労感謝の日を前に、おさなご幼稚園の子供たちが当院を訪れ、看護師をはじめとする職員を「叱咤激励」していただきました。

日頃仕事で子供を相手にすることの少ない？当院職員もこれには大喜び。

子供たちも最初は慣れない様子でしたが、この子供たちの中から未来のすてきな医者さん、やさしい看護師さんが誕生し、ふるさとの医療を守ってくれればいいと考えさせられる、そして心温まるひとコマでした。



## いざという時のために ～職員防犯研修～

大槌交番の警察官のみなさんを講師にお迎えし防犯研修を実施しました。

「病棟で刃物を振り回す来院者を、男性看護師や緊急連絡で駆けつけた職員が患者さんに危害が及ばぬよう、さすまたやイスなどを使い警察官の到着を待つ」という内容でしたが、犯人役の警察官の方の迫真の演技もあり、当院の「屈強」な職員7人がかりでなんとか取り押さえました。

実際にこんなことが起きたら大変ですが、いざという時のために職員みんなで「備えあれば憂いなし」を身をもって実感した貴重な時間でした。



## 今年も！ ☆☆☆クリスマスコンサート開催しました☆☆☆

恒例となった当院の「クリスマスコンサート」を今年も開催しました。今年はいかにも可愛いサンタさんや聖歌隊に扮したおさなご幼稚園の子供たちのステージをメインに、職員による合唱のほか、当院のオルゴールの音色も何曲かお楽しみいただきました。

サプライズでかわいいサンタさんから患者さんおひとりおひとりに手づくりのプレゼント（クリスマスプレート）も手渡され、クリスマスの雰囲気盛り上げていただきました。

かわいいサンタさんたち、ありがとう！



# ☆☆☆ルーDE部門紹介☆☆☆ ～病棟看護～



～患者さんにご家族から信頼と  
満足感が得られる看護の提供を～

看護師長 隈本 美香子

病棟看護部門は、看護師21名、退院調整看護師1名、看護補助者3名で構成されたメンバーで看護の提供を行っております。看護の専門性を活かしながら、患者さんのQOL（クオリティー・オブ・ライフ）の向上を目指し、疾患・障がいの回復への援助や、穏やかな入院生活の確保に努め取り組んでおります。

## 【看護提供方式PNS導入】

看護師2名がペアとなり受け持ち患者さんの看護を展開、相互に補完しあうことで相乗効果を発揮しながら安全でより質の高い看護を提供する看護方式PNS（パートナーシップナーシングシステム）を導入し、より患者さんの満足度が高まるよう努めております。

## 【地域包括ケア病床開設】

患者さんやご家族が安心してご自宅で生活できるようリハビリを中心に行うなど「在宅復帰を支援するための病床」を有しております。

入院や退院時のご相談には専任の退院調整看護師が親身にご対応いたしますのでご活用ください。



## 【多職種カンファレンスの実施】

病棟薬剤師、理学療法士、管理栄養士など他職種とそれぞれの専門分野を活かしたカンファレンスを毎日実施・連携することで受け持ち患者さんおひとりおひとりの問題解決や、ご自宅への退院を見据えた方策などを検討し、地域の保健・医療・福祉機関と連携して情報共有等を行っております。



【多職種カンファレンス】

大槌病院の病棟ではこれらの取組みのほか、医療安全推進員や感染専任看護師、糖尿病療養指導士等の資格者の配置、また、院内での研修会開催や院外研修への派遣等、看護師一人ひとりが学び続けることで地域のみなさまに質の高い看護の提供をしております。

次号は『診療放射線』部門へバトンタッチします。お楽しみに！

## 広げよう！！ OKはまゆりネット

8月1日より、病院、医科・歯科診療所、調剤薬局での「OKはまゆりネットカード」の新規発行が可能になりました。

これにより、はまゆりネットの加入者が増え歯科診療や服薬指導等業務支援につながればと期待しています。キーコードの発行伝達までに時間を要したり、依頼に添えないこともありますが、少しずつ改善し有効に活用できるよう努めてまいりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。



県立釜石病院 地域医療福祉連携室



## 岩手県立大槌病院

岩手県上閉伊郡大槌町小槌第23地割字寺野1番地1

TEL 0193-42-2121

FAX 0193-42-3148

HP <http://www5.pref.iwate.jp/~ootsuchi/>

### ☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

今号では開業医の先生方、大槌交番のみなさん、そしておさなご幼稚園の子供たちの話題をお伝えしました。

当院は地域のみなさまの健康、医療を守る「砦」であり続けたいといつも考えていますが、一方で、こんなにも地域のみなさまに支えられ、守られていることを実感させられる今日この頃です。

それにつけても大槌交番 吉田所長さんの関節技、とんでもなく「キレキレ」でしたw

番 号	6号
発行日	平成31年1月1日
発 行	岩手県立大槌病院 地域医療福祉連携室（千葉）
住 所	大槌町小槌第23地割字寺野1-1
電 話	0193-42-2121
F A X	0193-42-3148
E-Mail	EA1016@pref.iwate.jp